

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています
● 本誌の内容を、許可なく無断で複製・転載することを禁じます

「銀座における音声のルール」が東京新聞で取り上げられました。今後も周知を図っていきます。

大型ビジョンルール求める動き

「銀座らしさ」 音も節度を

「銀座ではビジョンに伴う音声をやめていただくようお願いしています」

。東京・銀座の落ち着いた雰囲気を守るべく、老舗店などが中心の「全銀座会」は、街中の大型ビジョンの音声をやめるよう、設置事業者に求めている。広告効果が高い華やかな街で増える音や光、香り…。多様化する広告手法に、戸惑う声も大きくなり始めている。(小林由比)

全銀座会が音声の自粛を申し入れた大型ビジョンのひとつ―東京都中央区銀座で(由木直子撮影)



子ども服ブランドの担当者「情報発信の場としては、世界一イストの新曲、警視庁の防犯情報…。銀座四丁目交差点にある円筒型のビル「三愛ドリムセンター」に設置されたビジョンから流れる音に誘われ、信号待ちの人たちが映像を見上げる。ビルを管理する「三愛」(渋谷区)

の担当者は「情報発信の場としては、世界一繁華街とは違う大人の街を守るためだ。全銀座会の街づくりを担当する「銀座デザイン協議会」の竹沢えり子さんは「ビジョンの音は説明的で押し付けがましくなりがち。高いところにあるため音量も大きく、苦情もある」と説明する。

ドリムセンターのほか、有楽町マリオン(千代田区)のビジョンにも、ビル所有者や管理者に申し入れたという。ドリムセンターを所有するリコー(中央区)の広報担当者は「検討はこれから。ビジョンを運営する会社とともに、地元とお互い歩み寄りが必要なのか考えたい」と、ビジョンのほか、強い香りを放つ店が出たり、サーチライトを使いたいという新手法の相談も増えている。中央区の平野照雄地議会は二〇〇六年の発議以来、新設の建物や広告の内容を事業者と話し合い、街並みを守るべくしてきた。広告の色や形を禁じたり、数値で規制するのは難しく、個別に協議し「銀座らしさ」を意識してもらおう試みた。

これまでの協議実績は千件。一〇年秋に増床改築した銀座三越は地元の要望もあり、それまで設置していたビジョンをやめた。街並みとの調和に成功した事例を紹介する手引本「銀座デザインルール」も作る。その一方

「銀座における音声のルールについて」は、銀座デザイン協議会の事務局で配布しております。ホームページからもダウンロードできます。
(<http://www.ginza-machidukuri.jp/rule/sound.html>)
ぜひご一読いただき、ご意見をお寄せください。

2013年3月30日(土) 東京新聞(夕刊・1面)



このNEWS LETTERはメール配信もしております。メール配信をご希望の方は、下記までお知らせください。
» info@ginza-machidukuri.jp